

施策評価シート

登録者(課長)名【1】	みどり公園課課長 高井 謙
主管課(関係課)【2】	みどり公園課(産業振興課)

【施策の概要】

施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】	
環1-1 みどりの保全・活用		豊かなみどりを保つために	環境にやさしいまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	みどりの保全を進めるためには、公園ボランティアの拡充や援農ボランティアの組織化を進めていく必要があります。また、引き続き体験農園の整備を進めることも必要です。 こうした取組とともに民有地などの緑化支援を行うことで、市民が自発的に緑化活動に取り組めるしくみを形成します。		・公園・緑地・農地の活用によるまちづくり(公園や緑地、農地を保全するだけではなく、活用していくことで市民とともに保全していくしくみを形成する。) ・援農ボランティアの組織化	市民による公園管理のしくみや、個人が所有する農地や樹木、樹林、生垣などを維持するしくみを整え、身近なみどりの保全・活用をめざします。
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
特になし				
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】	
	1	みどりを保全・活用するしくみを形成します	緑地を保全・活用するしくみの形成	
	2	農地の保全・活用を行うためのしくみを形成します	農地を保全・活用するしくみの形成	

【施策の成果】

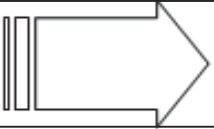


			年度	19	20	21	22	23	24	
成果指標【12】	指標1	名称	西原自然公園樹林の更新された面積の割合	目標値	50%			単位	%	
		算出式・説明	市内でも数少ない貴重な樹林を有する西原自然公園において、樹林の再生を図るため、主林木であるクヌギやコナラの成長などを促すための植生管理を行い、その更新された面積の割合としました。	実績値	20	25	30	35	40	
		達成率	40%	50%	60%	70%	80%	0%		
	指標2	名称	公園ボランティア登録会員数	目標値	800人			単位	人	
		算出式・説明	公園ボランティア事業の経験を通じてみどりの管理を行うことで市民の意識向上を図り、身近なみどりに対する継続的な関心や活動へとつなげることが必要です。	実績値	748	698	749	734	709	
		達成率	94%	87%	94%	92%	89%	0%		
	指標3	名称	体験農園區画数	目標値	300区画			単位	区画	
		算出式・説明	西東京市では団塊の世代の地域活動への参加などを背景に農業体験に対するニーズが高まっており、体験農園を設置することで市内にみどりを増やすとともに農地の保全に取り組むことが重要です。	実績値	186	250	263	263	291	
		達成率	62%	83%	88%	88%	97%	0%		
	指標4	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
		達成率								
達成率の平均値				65%	73%	81%	83%	89%	0%	

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度		平成24年度	
満足度(%)	34.9%	満足度(%)	35%	満足度(%)	35.6%
満足度(平均ポイント)	0.02	満足度(平均ポイント)	0.05	満足度(平均ポイント)	0.08
重要度(%)	76.8%	重要度(%)	75.3%	重要度(%)	74%
重要度(平均ポイント)	1.11	重要度(平均ポイント)	1.1	重要度(平均ポイント)	1.07

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】 <input type="checkbox"/> まだ未達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】 <input type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
施策の成果と課題 (取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】	◇緑の保全については、西原自然公園の雑木林の樹木の伐採や育成作業を平成17年から公園管理協力団体「西原自然公園を育成する会」と市との協働で行っています。さらに、近隣の中学・高校の生徒（ボランティア）とも協働で下草刈の作業を行っております。また、他の公園緑地についても自主的に参加する市民及び団体の活動を促進し、市民と協働で維持管理に努めます。課題としては、協力団体の高齢化に伴い人材の減少も考えられることから、今後協力会員の拡大に努めていく必要があります。 ◇市民農園については、利用希望者は依然として多いものの、利用者間のトラブルやマナーの低下が問題となっています。また、体験農園も含め、農業振興への具体的な効果や役割のほか、適正な費用負担のあり方など体系的な整理が必要となっています。 ◇援農ボランティアについては、その数は増えている一方、受け入れ農家が固定化するなど制度の需要が広がらない状況にあり、その必要性及び制度のあり方について見直す必要があります。		
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】 <input type="checkbox"/> 弱くなっている <input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度 <input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要性【18】 <input type="checkbox"/> 平均を下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
今後の方針 (具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】	◇みどりの保全については、ボランティアの高齢化が考えられることから、ホームページや市報で協力会員の募集を行うとともに、ボランティア養成講座等を充実させ、人材の養成とその確保に努めます。また、西原自然公園では近隣の学校との連携を推進します。 ◇市民農園・体験農園のあり方や援農ボランティア制度については、平成26年度にスタートする（仮称）第2期農業振興計画の策定作業において、課題・問題点を検証し、抜本的な見直しを図ります。		
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み	
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化	
	施策実施方針【22】	V コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域	

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	
--------	--

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化
	判断理由等【24】	みどりの保全・活用については、成果指標として掲げた目標について、順調に実績を伸ばしてきており、計画期間内の目標をほぼ達成できる見通しとなっています。 市民意識調査における満足度は、前回施策評価と同様、相対的に高水準を維持しており、引き続きコスト面での効率化に努めるべきものと判断しました。 このため、平成26年度にスタートする（仮称）第2期農業振興計画の策定作業においては、市民農園・体験農園や援農ボランティア制度など各種事業の見直しの中で、受益者負担の適正化などの視点を踏まえた、コストの効率化も同時に検討することとします。
施策実施方針【22】	VI コストを抑制しながら成果を維持すべき施策領域	

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
1	西原自然公園植生の管理	みどり公園課	市内でも数少ない貴重な樹林を有する西原自然公園において、樹林の再生を目的とする更新作業などを行い、主林木であるクヌギやコナラの成長等を促すため、市民団体である「西原自然公園を育成する会」と協働で植生管理を行っています。更新区域約2万㎡を20年かけ1年に千㎡の割合で面的に伐採を行い、伐採材は市民に無料配布し有効利用を図っています。
	グリーンバンク制度の運営	みどり公園課	家の建替えなどにより伐採や撤去されてしまう樹木を活用（移植）することにより、身近なみどりを守り育てます。不必要となった一定基準の樹木を申請に基づき登録し、引取りを希望する市民に斡旋しています。また、登録情報については、市ホームページや所管窓口で公表を行っています。
	公園ボランティア拡充事業	みどり公園課	西東京市が管理する市立公園その他緑地帯の管理運営に自主的に参加する市民及び団体の活動を促進し、市民意識の向上・管理コストの削減を図り、公園等を安全かつ快適に利用できる場とします。協力してもらえる内容ごとに登録して、その範囲内で協力してもらいます。また、協力会員に対しゴミ袋・ハウキ・熊手等の用具を支給しています。
2	市民農園、体験農園の設置、運営（市民農園）	産業振興課	市民農園は、市が借り受けた農地において市民が自らの手で野菜を栽培することを通して、生産の喜びを知り、農業に対する理解を深めます。現在、市内に4箇所設置されています。募集に関しては毎年行い、2年間契約となっています。
	市民農園、体験農園の設置、運営（体験型農園）	産業振興課	体験農園は、市内において市民が農作業を体験できる農園を設置するものに対し、体験農園設置に要する経費の一部を補助しています（上限額200万円）。現在4箇所に設置されています。
	援農ボランティアの活用	産業振興課	農家の労働力の不足を補うとともに、農業にふれあい、農業者との交流を深め、都市農業の意義と役割を理解してもらうため、農業に関心を持つ市民を援農ボランティアとして養成します。講義形式の座学を2回と市内農家での農業体験を10回（1回あたり2時間程度）程度行い、ある一定程度の出席をすれば最終的に「援農ボランティア終了証」を発行します。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】			事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
事業費	人件費					
4,227	2,594	1,633	継続実施 (平成20年度)	中	市民団体との協働による植生管理により、西原自然公園の樹林地としての再生が図られると共に、子供たちを含めた市民の自発的な緑化活動への参加が促進されます。	B
735	0	735	改善・見直し (平成20年度)	下	不要となった樹木を市民の方々に斡旋することで、身近なみどりが保全されます。	B
1,461	563	898	継続実施 (平成19年度)	上	公園ボランティアの方々と協力することで、公園等を安全かつ快適に利用できる場所として提供することができると共に、市民の自発的な緑化活動への参加が促進されます。	B
0	0	0	改善・見直し (平成23年度)	上	農地を体験農園として活用し、利用を通じた農業・農地に対する理解を深めることで、都市農地の保全につながります。	B
1,344	1,344	0	継続実施 (平成23年度)	中	農地を体験農園として活用し、利用を通じた農業・農地に対する理解を深めることで、都市農地の保全につながります。	B
278	278	0	抜本的見直し (平成23年度)	中	援農ボランティア活動を通じて、農業・農地に対する理解を深めることで、都市農地の保全につながります。	B
8,045	4,779	3,266				